

科目名	共生教育実践演習	担当教員	全専任教員
科目属性	基幹科目	単位数	2単位(面接0.5単位)
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>社会のあらゆる分野において、人を認め、人を排除しない、仲間をつくって共生社会を構築するために実践できる人材を育成するために必要な教育を、実践から学び、結果を共有する資質能力を獲得することを目的とする。</p> <p>星槎大学大学院・星槎大学では、共生社会構築に不可欠な教育理念として「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」と定めている。「共生教育研究」では、社会の多様な分野において共生教育についての課題を探求した。本科目では、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」教育課題を実践し、結果を共有するために発表し、討論する。多様な分野の実践事例からの発表、討論を通して、実践に必要な要因を考察する。共生教育実践に不可欠な要因について考えを深めることで、共生社会構築のための共生教育の実践力を獲得する。</p>			
<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」教育課題を計画する</li> <li>3. 「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」教育課題を実践する</li> <li>4. 共生教育実践に向けての論考を読む①（教育・心理分野） <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツのよろこび、文化創造の活動をともにするなかで育まれる仲間づくりの能力・資質（水内宏）</li> <li>○仲間を作る市民リーダーに必要な資質・能力におけるコミュニケーションの事例。（天野一哉）</li> <li>○「人を認める」「人を排除しない」「仲間をつくる」共生社会を目指す～星槎の歩みを事例として～（細田満和子）</li> <li>○藤子・F・不二雄のSF異色短編作品を通して「共生」を考える教材づくり（続編）（仲久徳）</li> <li>○行動分析学の視点から人間と社会の問題を考える（杉山尚子）</li> </ul> </li> <li>5. 共生教育実践に向けての論考を読む②（特別支援教育分野） <ul style="list-style-type: none"> <li>○障害を持つ子の親からみた「共生」ー共生を促す要因と阻む要因（仁平義明）</li> <li>○東日本大震災から共生を考えるー災害時に発達障害児(者)を含め障害児(者)と健常児(者)が共に生存する具体的方策を考えるー（千田光久）</li> <li>○特別支援教育に関する新たな課題～仲間を作る資質能力の実践事例（西永堅）</li> <li>○インクルーシブ教育の視点から見た学習支援のあり方～違いを認める学級運営と学習支援（伊藤一美）</li> </ul> </li> <li>6. 共生教育実践に向けての論考を読む③（環境分野） <ul style="list-style-type: none"> <li>○「地に這う視点」から環境や公害の問題を捉える「現場」の実践（鬼頭秀一）</li> <li>○命の授業の作り方～種を超えた仲間作りの実践事例。（坪内俊憲）</li> </ul> </li> <li>7. 共生教育実践に向けての論考を読む④（公共分野）</li> </ol>			

<p>○現代社会の課題に立ち向かう実践的共生思想について論じあう。(山脇直司)</p> <p>○共生と共栄の実践事例ーサッカーワールドカップアジア予選からの学び(児玉ゆう子) 8. 共生教育実践に向けての論考を読む⑤(医療・看護分野)</p> <p>○共生のための健康づくり:貧血を知る;鉄欠乏性貧血。(佐藤智彦)</p> <p>9. 「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」教育課題の実践を分析する</p> <p>10. 「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」教育課題の実践結果を発表形式に取りまとめる</p> <p>11. 実践結果を発表し、相互評価を共有する①(教育・心理分野)</p> <p>12. 実践結果を発表し、相互評価を共有する②(特別支援教育分野)</p> <p>13. 実践結果を発表し、相互評価を共有する③(環境分野)</p> <p>14. 実践結果を発表し、相互評価を共有する④(公共分野、医療・看護分野)</p> <p>15. 「実践からの考察～人を認め、排除せず、仲間を作るため実践手法」として取りまとめる</p>
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>レポート 25%、スクーリング 25%、科目修得試験 50%</p>
<p><b>【教科書】</b></p> <p>各教員から提供された教材(学生ポータルサイトにアップロード)</p>
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>学修指導書に記載</p>